

1.技 術	4.1 造水技術シンポジウム・講演会
2.事 業 名	4.1.18 河川環境を健全に維持するための汚濁物質水質規制の最新動向と各種の造水技術に関するシンポジウム
3.キーワード	河川、汚濁物質、造水技術
4.目 的	近年、環境省において環境に影響を及ぼす水質汚濁物質(河川へ流入する化学物質、医薬品等)に関して、環境基準化・一律排水基準化の検討が行われている。そこで、これら汚濁物質の現状、環境規制の決め方手順などのシステム、リスク管理の動向及びそれら物質の低減化に関する造水技術についてのシンポジウムを次のとおり開催した。
5.内 容	<p>◇テーマ:河川環境を健全に維持するための汚濁物質水質規制の最新動向と各種の造水技術</p> <p>◇主 催:一般財団法人造水促進センター</p> <p>◇後 援:経済産業省、環境省、一般社団法人日本工業用水協会、特定非営利活動法人日本オゾン協会、日本脱塩協会、日本液体清澄化技術工業会、一般社団法人膜分離技術振興協会、日本膜学会、公益社団法人日本水環境学会、日本水道新聞社、水道産業新聞社</p> <p>◇日 時:平成 26 年 2 月 21 日(金)9:50～16:30</p> <p>◇場 所:「主婦会館プラザエフ」地下 2 階「クラルテ」</p> <p>◇参加者:約 80 名</p> <p>◇講 演:</p> <p>「最近の水環境行政について」 環境省水・大気環境局水環境課課長補佐 上 西 琴 子</p> <p>「下水からの水環境水質リスクとその低減化技術の最新動向」 京都大学大学院工学研究科附属 流域圏総合環境制御研究センター教授 田 中 宏 明</p> <p>「耐塩素性病原微生物としての病原原虫～対策技術と実用上の留意点～」 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科自然・応用科学系教授 大 瀧 雅 寛</p> <p>「オゾンマイクロバブルによる高効率な下水再生処理」 株式会社日立製作所日立研究所材料研究センター主管研究員 圓 佛 伊智朗</p> <p>「オゾン・促進酸化法の開発」 メタウォーター株式会社事業戦略本部 R&D センター 新事業開発部新事業技術開発グループマネージャー 加 藤 康 弘</p> <p>「1.4 ジオキサンの低減化技術」 株式会社クボタ水・環境総合研究所研究第1グループ担当課長 吉 崎 耕 大</p> <p>「超高効率ホウ素除去システム新型キレート繊維法」 NEC ファシリティーズ株式会社環境・建設ソリューション事業本部環境新事業開発室 環境技術プロフェッショナル 和 田 祐 司</p>
6.成 果	
7.参 照	(公財)河川財団の助成事業